

119 ^{ふくおうじ} 福王寺の ^{もくぞうがっこう} 木造 ^{ほさつりゅうぞう} 月光菩薩 ^{せいしほさつ} 立像 (勢至菩薩)



指 定	市有形文化財	昭和61年 9 月10日
所在地	協 和	
所有者	福 王 寺	

月光菩薩は、日光菩薩とともに薬師如来を本尊とする脇侍であるが、薬師如来は焼失してしまい、日光・月光菩薩だけが今に伝わっている。

檜の一木造りで、平安後期・十二世紀後半の作と推定される。日光菩薩に比べると顔立ちがふくよかで、肩の張りや身体全体が力強く、時代の特徴を示している。本来塗彩されていたが、大部分が剥落し、漆喰が全体を覆っている。

両手や光背が欠落しており、傷みは激しいが、時代を特徴づける重要な菩薩像である。